

THE WEEKLY REPORT 2003▶2004



TAKIKAWA

# ROTARY CLUB

第2327回 2217 11月20日(木)



「百合の咲く庭園」 撮影／滝川ロータリー名誉会員 神部弘二

**ロータリーテーマ：手を貸そう**

ROTARY THEME : LEND A HAND

2003~04 国際ロータリー会長 ジョナサン.B.マジリアベ氏

**「変革にチャレンジ」** 林 博 幸 会長

第 2326 回例会記録 11 月 13 日(木)

## 副会長挨拶・報告



最近、寒い日が続いて  
ますので会員の皆様は体  
にご自愛下さるようお願い  
いたします。

今日は北海道盲導犬協  
会 所長和田孝文様の卓話を頂く訳でありま  
すが、私たちロータリークラブも障害者・  
高齢者に易しい街づくり・地域社会づくり  
を共に願っているのです。卓話の終了後い  
くらかのご支援出来ればと思っています。

## 幹事報告

- 1 .羽幌 R C ・ほほえみ工房より会報届く。
- 2 .ガバナー月信11月号届き購読者のロッ  
カーへ入れておりますのでご一読下さい。
- 3 . 12月7日(日)・滝川市歳末たすけあ  
い「赤い羽根歌謡大会」への出場依頼が  
ございます。出場して頂ける方は、幹事  
又は、事務局へご連絡下さい。
- 4 . 掲示板並びにお手元にパンフレットを  
お配りしておりますが、地区社会奉仕委  
員会よりロータリー市民フォーラムへの  
参加要請がございました。時間等のご都  
合つく方は、一人でも多くのご参加をお  
願いたします。
- 5 . 国際大会登録について。  
11 月中 17,000 円  
来月より 20,000 円

## 先週のプログラム

ゲスト卓話

社会奉仕委員会担当

司会 小林一磨社会奉仕副委員長

今日は、社会奉仕委員会担当の例会で  
す。早速、伊藤和男社会奉仕委員長がゲス  
トの紹介を兼ねてご挨拶致します。

委員長挨拶及びゲスト紹介

伊藤和男社会奉仕委員長



皆さん、こんにちわ。本  
日は今年度の社会奉仕委  
員会の活動計画にありま  
す「人間尊重：援助を必  
要とする人々に焦点をあ

てた奉仕活動を行う」に沿いまして、視覚  
障害者に手を差し伸べることを目的に、札  
幌にあります北海道盲導犬協会にスポット  
をあててみました。

盲導犬につきましては、皆さん良くご存  
知と思いますが、視覚障害者にとって「目  
と心に光をともしてくれる人生のパート  
ナー」と位置づけられている「百聞は一見  
にしかず」です。今日はゲストに同協会の  
所長さんと盲導犬ハンク号をお招きして卓  
話と実演をして頂きます。時間の関係上基  
本動作だけになると思いますが、ご期待下  
さい。

ここで、皆さんにお願いがあります。こ  
の後皆様の席に「ミーナの募金箱」を回し  
ますので、クラブの寄付金と併せて協会に  
贈呈致します。どうか趣旨をご理解のうえ

ご協力下さいます様宜しくお願い致します。

それではゲストを紹介致します。(財)北海道盲導犬協会の和田孝文さんです。和田さんは、H 10年に同協会の所長になり活躍中です。また、全国盲導犬連合会運営委員、アジア・ガイドドッグス・ブリーディング・ネットワーク副幹事、社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会評議員などの要職をお持ちです。

そして、盲導犬ハンク号です。2オ9ヶ月のオス犬で、主に啓発活動で活躍中です。

それでは、和田所長さん宜しく願いします。

### 目の不自由な方の日常生活を サポートする盲導犬について

財団法人北海道盲導犬協会 所長 和田孝文様



現在、北海道で活躍する盲導犬は70頭。しかし、平成10年のアンケート調査では盲導犬希望者が400名に上ることが推計

され、盲導犬不足の実態が明らかになりました。また、盲導犬の受入れも先進国の中では遅れています。特に飲食店、宿泊施設では「盲導犬の取扱が分からない」「他人に迷惑になる」などを理由に盲導犬の同伴を断られる事例が多数ありペットと同一視されることが少なくありません。

では、盲導犬はどのようにして育てられ

ているのでしょうか。まず、盲導犬候補となるような優秀な子犬を計画的に繁殖します。子犬は生後55日頃からパピーウォーカーに預けます。大切なことは家族の一員として愛情豊かに育てて頂くこと。そしてこの間に社会のルールやマナーを基本的な躰として学んでいきます。約1年後、子犬は訓練所に戻り盲導犬としての適性評価を受け合格した犬が約7ヶ月の訓練プログラムに進みます。適性評価での合格率は約40%。決して高い合格率ではありませんが、犬を盲導犬として訓練するのではなく、盲導犬としてより適性のある犬を見つけ、その適性を伸ばし育てること。こうして育てられた盲導犬が視覚障害者の素晴らしいパートナーとなるのです。

適性評価に合致した盲導犬候補の犬たちは、「座れ」「伏せ」など基本的なことから始められ、「交差点で止まること」「障害物を避けること」「指示より安全を優先させること」など歩行をサポートするための科目を学びます。最終段階は、視覚障害者との4週間の共同訓練。訓練所で寝食を共にしながら互いの絆を深め共同作業としての歩行を完成させます。

身体障害者補助犬法が10月に完全施行されました。公共施設・交通機関に次いでも盲導犬、介助犬、聴導犬を拒否できないというものです。しかし、現在も断られるケースは少なくありません。補助犬につ

いての理解を着実に広げていくことが大切であると改めて実感しています。皆様のお力添えを心よりお願い申し上げます。



盲導犬体験する石黒会員

石黒会員の感想：短い時間でしたが、回りが見えないという事が、室内であっても大変怖い思いをしました。

#### 司 会

和田所長さん、どうもありがとうございました。それでは、ここで滝川ロータリークラブからの寄付金と併せて皆様方からの募金の贈呈式を行います。

和田所長さん、中田副会長、前の方へお願いします。



## ニコニコBOX

米倉 慎一会員 中島ニコニコ委員長に大変お世話になりました。

堀田 建司会員 久しぶりに出席して。

山口 清悦会員 結婚祝いを頂いて。

吉田 正治会員 結婚祝いを頂いて。

松原 章会員 例会を休みまして申し訳ありません。良いことがあって。

吉住 敏夫会員 無事選挙が終わり、感謝して。

伊藤 和男会員 担当例会を終えて。皆様、ご協力ありがとうございました。

会長／林 博幸  
幹事／川口 義弘  
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp  
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日 ●毎週木曜日 PM12:30  
例会場 ●ホテルスエヒロ  
事務局 ●☎073-0032滝川市明神町2丁目2-16  
ホテルスエヒロ7F TEL (0125) 22-3344  
FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。